

## イザベル・カンピオンの公開指導講座

# ”音楽家の為の運動療法”の役割とは何か？

～フォーカル・ジストニアから演奏復帰した演奏家への指導を通して見えてくるもの～

「音楽家の為の運動療法」って、どんなことをやるの？」と興味をお持ちの方々に、その指導法と役割を知っていただくために、カンピオンの実際の指導を公開致します。「まな板の上の鯉」となるのは、フォーカル・ジストニアから演奏復帰を果たしたクラリネット奏者の尾上昌弘氏。

この講座に参加されることで、“音楽家の為の運動療法”は、トラブルの有る演奏家に有効なりハビリとなるにとどまらず、トラブルの無い演奏家にとっても演奏向上に繋がる合理的なメソッドであることを実感いただけるとと思います。

- \* 講座構成は50分間の指導と質疑応答。“音楽家の為の運動療法”について、フォーカル・ジストニアについて、質問がお有りの方は、是非この機会にご質問を！



講師：イザベル・カンピオン

(写真提供：パイパース)

日 時：2014年11月17日（月）11時～12時30分  
会 場：スペース Do （管楽器専門店ダク地下）Tel 03-3361-2211  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-8-9 <http://www.kkdac.co.jp/do/index.html>

講 師：イザベル・カンピオン（運動療法士）

モデル受講者：尾上昌弘（クラリネット奏者）

通 訳：郡尚恵（クラリネット奏者）

参 加 費：4000円（定員20名）→ 事前に受講チケットをお買い求めください。

\* 受講チケット（10月20日発売開始予定）ご購入は下記へ

カンフェティチケットセンター（フリーダイヤル）0120-240-540（受付時間 平日 10：00～18：00）

### 《イザベル・カンピオン (Isabelle CAMPION) プロフィール》

運動療法士、アマチュアチェリスト。楽器演奏時に苦痛を伴う多くの演奏家の治療に当たっている。

2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学を専攻、また芸術医学のディプロムを取得。2002年より「音楽家の為のクリニック」勤務。そこで演奏家の職業疾患とその予防、テクニックや音楽表現のための動作の最適化、“あがり”の克服の研究、指導をしている。また、フランス国内外での講演会、オーケストラ、音楽教育機関でのトレーナーとしての活躍など、音楽に関する活動に大きな情熱を注いでいる。日本では、2009年よりコンセール・パリ・トーキョウ企画の講座で講師を務め、2010年からは毎年1回、東京藝術大学に於ける特別講座の講師を務めている。

### 《尾上昌弘 プロフィール》

香川県出身。15歳よりクラリネットを始める。香川県立坂出高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部を経て、同大学大学院修士課程修了。クラリネットを高畑直美、山崎盾之、藤井一男、村井祐児、山本正治、三界秀実諸氏に師事。

また木管五重奏団 アンサンブル・ミクストのメンバーとしても活動している。同団体で2011年、第7回大阪国際室内楽コンクール管楽アンサンブル部門第3位（同部門における日本人団体の史上最高位）。

音楽家の疾患であるフォーカル・ジストニアが右手に発症したが、2008年頃である。当初は演奏困難な状態にまで陥るが、演奏活動を続けながら治療に取り組み、現在は演奏復帰している。

主催：コンセール・パリ・トーキョウ <http://www.concert-paris-tokyo.com/>

協力：管楽器専門店ダク

【お問い合わせ】 コンセール・パリ・トーキョウ Tel&Fax.03-3487-7967

管楽器専門店ダク 担当：山中 Tel.03-3361-2211